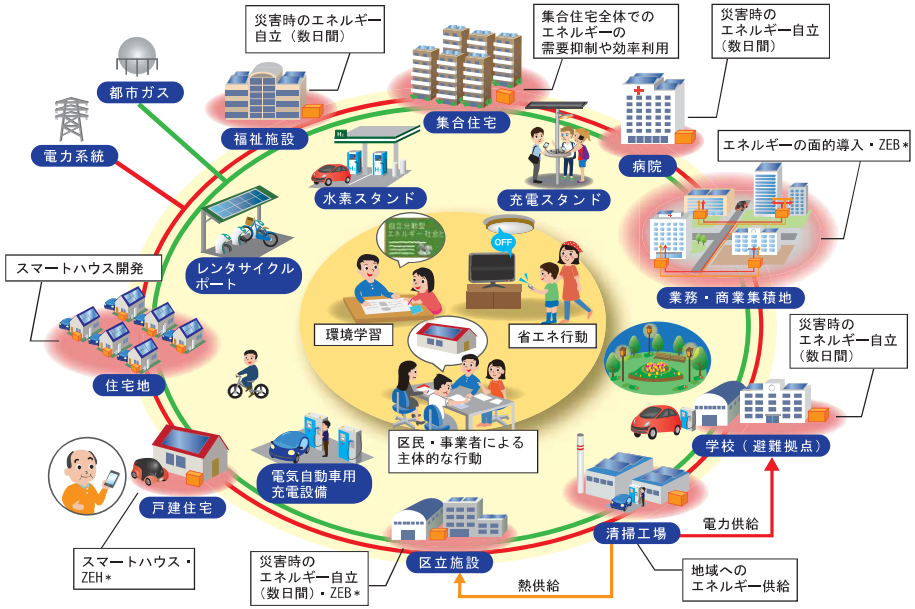
資料７　〈参考〉練馬区エネルギービジョン（一部抜粋）

自立分散型エネルギー社会の将来像

≪ 平成 40 年代初頭にめざす練馬区における自立分散型エネルギー社会の将来像 ≫



分散型エネルギーシステム：　コジェネレーション、再生可能エネルギー、未利用エネルギー、蓄電池（次世代自動車バッテリーを含む）、蓄熱設備等

＊ZEB，ZEH：ネットゼロ・エネルギー・ビル，ハウスの略。
再生可能エネルギー活用等によるエネルギー創出量で、一次エネルギー量（電力やガス等を利用するためのエネルギー量）を概ね賄える状態（正味ゼロエネルギー）となる建築物をいいます。

将来像の主な要素となる３つの観点を、「生活」（区民生活や事業活動）、「社会」（区民等を後押しする社会の仕組み）、「空間」（住宅や街なみなど具体的な活動の場）と定義し、それぞれのめざす姿を示しました。

区民生活や事業活動［生活］

① 区民・事業者の間で、身近な省エネルギー対策が定着しています。
② エネルギー効率に優れた建物や製品等を優先的に選択する行動が定着しています。
③ 災害時のエネルギー確保への備え（設備、行動）が定着しています。

区民等を後押しする社会の仕組み［社会］

① 省エネ型の建物、製品およびサービスの選択を促すインセンティブ制度等が機能しています。
② 災害時には区内のエネルギー供給施設を皆で共有できる仕組みが整っています。

住宅や街なみなど具体的な活動の場［空間］

① 先導的な分散型エネルギー拠点が区内の数か所に実現しています。
② 家庭、事業所、区立施設では、各々の特性や目的に応じてエネルギーを組み合わせています。
③ みどり豊かで誰もが移動しやすい、低炭素で省エネルギー型のまちを形成しています。

取組の柱立てと重点的に取り組む事業

① 災害時のエネルギーセキュリティの確保

災害時におけるエネルギーセキュリティをさらに高めることをめざし、区民・事業者の協力のもとに、避難拠点等におけるエネルギーの確保に取り組みます。

(1) プラグインハイブリッド自動車・電気自動車・燃料電池自動車の避難拠点などでの緊急電源利用
(2) 避難拠点等におけるエネルギー確保の充実
(3) 区民・事業者に対する分散型エネルギーシステムの導入支援

外部電力供給設備

谷原小学校に設置した太陽光発電

左写真）メーカーから提供

② 分散型エネルギーの普及拡大

再生可能エネルギーやコジェネレーションを活用し、ICT（情報通信技術）で地域全体のエネルギー利用の最適化を図るスマートコミュニティの形成をめざします。

(1) 全国を先導する地域コジェネレーションシステムの創設
(2) 分散型エネルギーシステムの導入支援
(3) 再生可能エネルギーのさらなる活用

家庭用燃料電池
（停電時発電継続機能付き）

壁面パネル型太陽電池
（豊玉リサイクルセンター）

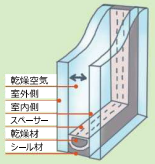
左写真）メーカーから提供

③ 省エネルギー化の推進

複数の省エネルギー機器・設備導入に対する補助、区立施設の省エネルギー化促進、省エネルギー住宅の普及啓発などに努めます。

(1) 省エネルギー機器・設備の導入支援
(2) 区立施設における省エネルギー化の推進
(3) 省エネ型ライフスタイルへの誘導

直管型LED照明



窓の断熱改修
（複層ガラスの例）

出典）経済産業省HPより

④ 区民とともに進める取組

災害時のエネルギーセキュリティの確保、分散型エネルギー導入の具体化、省エネルギー化の推進には、区民・事業者が大きな役割を担います。
区は、現場の実態に即して、区民・事業者とともに推進に努めます。

(1) 災害時のエネルギーセキュリティの確保
(2) 分散型エネルギーの普及拡大
(3) 省エネルギー化の推進
(4) 協働による着実な推進